

別紙標準様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	平成30年度第1回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会
開催日時	平成31年3月11日（月） 18時50分から 19時40分まで
開催場所	枚方市役所別館4階 第3委員会室
出席者	委員：多田委員、豊高委員、花田委員、原委員、廣寄委員、福岡委員、 藤田委員、益田委員、安田委員
欠席者	小杉委員、田中委員、谷本委員
案件名	【案件】 （1）部会長・副部会長の選出について （2）第3次枚方市環境基本計画の策定の方向性について （3）今後のスケジュールについて
提出された資料等の名称	・次第 ・資料1 第3次枚方市環境基本計画の策定の方向性について ・資料2 今後のスケジュール（案）について ・参考資料1 第2次枚方市環境基本計画に基づく環境指標の進捗状況について ・参考資料2 第2次枚方市環境基本計画に基づく主な取り組み実績について ・参考資料3 枚方市環境審議会傍聴要領
決定事項	・部会長に花田委員、副部会長に小杉委員を選出した。 ・会議及び会議録は公開することとした。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0
所管部署（事務局）	環境部 環境保全課

審 議 内 容

1 開 会

事務局：定刻になりましたので、ただ今より、平成30年度第1回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会を開催いたします。委員の皆様方にはお忙しいところ、本部会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。現時点におきましては、部会委員就任後、初めての部会であり、部会長、副部会長が不在の状況にありますので、部会長、副部会長が選任されますまで、事務局の方で議事を進めさせていただきます。私は、環境保全課の村上でございます。どうかよろしくお願いたします。まず、はじめに本日の出席委員数は8名で、2分の1以上の委員に出席いただいておりますので、枚方市環境審議会規則第4条第2項の規定に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。次に資料を確認させていただきます。

まず、

次第

資料1 第3次枚方市環境基本計画の策定の方向性について

資料2 今後のスケジュール（案）について

参考資料1 第2次枚方市環境基本計画に基づく環境指標の進捗状況について

参考資料2 第2次枚方市環境基本計画に基づく主な取り組み実績について

参考資料3 枚方市環境審議会傍聴要領

以上ですが、過不足はございませんでしょうか。

案件1 部会長・副部会長の選出について

事務局：それでは、早速ではございますが、本日の案件に入ります。まず、部会長及び副部会長の選任をお願いしたいと思います。枚方市環境審議会規則第5条の規定に基づき、部会長及び副部会長の選任は、委員の互選によるものとされております。

大変恐縮ですが、事務局から提案させていただきたいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

【委員了承】

それでは、事務局から提案させていただきます。事務局といたしましては、花田委員に部会長を、また、小杉委員に副部会長をお願いしたいと考えております。なお、本日ご欠席されている小杉委員については、事前にお話をさせていただいております。ご異議がなければ拍手をもってご承認いただけますでしょうか。

【拍手】

それでは、部会長には花田委員、副部会長には小杉委員にご就任をお願いいたします。花田部会長にはお手数ですが、部会長の席にお移りいただきますようお願いいたします。

【部会長移動】

それでは、これからの議事の進行については、花田部会長をお願いいたします。

部会長：ただいま部会長に選出いただいた花田でございます。部会委員の皆様と本部会を円滑に進めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。それでは、議事を

進める前に、本部会の公開、非公開について取り決めを行いたいと思います。事務局から何か提案はございますか。

事務局：1つ目といたしまして、本部会の公開、非公開につきましては、枚方市環境審議会傍聴要領第2条第1項に基づき、公開とすることが妥当であると考えています。2つ目といたしまして、会議録につきましても、同様に公開とすることが妥当であると考えております。以上です

部会長：事務局から提案のありましたとおり、本部会につきましては、会議録も含め公開するという形で運営させていただこうと考えておりますが、いかがでしょうか。

【委員了承】

部会長：それでは公開という形で運営させていただきたいと思います。本日傍聴希望の方はおられますか。

事務局：おられません。

案件2 第3次枚方市環境基本計画の策定の方向性について

部会長：案件2「第3次枚方市環境基本計画の策定の方向性」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局説明】

部会長：ただいま事務局から案件2の内容について説明をいただきました。本日は第1回目の部会となり、第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、現時点の皆様のお考えやアンケート手法などについて、委員の皆様一人ひとりのご意見をいただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

委員：本日、市が開催したマイクロプラスチックの講演を聞かせていただき、プラスチックのごみ以外にもポリエステル製品などからも発生するということがわかり、今後使っていくものを考えていかなければならないなと感じました。また、テレビなどでは化学物質過敏症の話題があり、枚方市でも声を上げられないような方もおられるのではないかと気になっています。加えて、除草剤などにも海外では使用されない化学物質が使用されているということを知り、気になりました。最後に、環境に関係あるかわかりませんが、電動車いすを利用されている方がまちなかを動きにくいというご意見も聞きます。このような意見全てを拾っていくことは難しいかもしれませんが、少しでも拾っていければよいのではないかと感じます。

部会長：まさに、生活環境という部分のご意見をいただくことができました。ありがとうございます。

委員：ISOの主任審査員の環境品質をしており、今まで300社以上伺わせていただき、その経験も踏まえ市民としての意見を述べさせていただくと、枚方市では、枚方市の環境のありたい姿というものがあると感じます。あるべき姿というよりも、10年、20年、30年後のありたい姿をイメージしてアンケートを取る必要があるのではないかと思います。多種多様な方がおりますので、全ての市民が同じ方向性を向いてということは難しいと思いますが、市民が数ある選択肢の中から、選択した環境のありたい姿というものを合意形成ができればと思います。

部会長：アンケートの実施にあたっては、第3次枚方市環境基本計画の計画期間の最終年度が2030年度になるかと思っておりますので、SDGsの観点からのご意見が伺えればと思います。

委員：一市民として、学校給食に地元のもものがあまり使われていないことに少し驚きました。また、空き家問題についても、更地にすると固定資産税が増額されるのでそのまま放置されてしまい、それに関連してごみも増えているのではないかと思います。他市などでは、ごみステーションとは別に個別案件で対応していただけたとも聞いていますので、利便性があがればよいと感じます。最近、枚方市の人口が減っていると聞いていますので若い人たちにとって住み良い枚方市になればよいと感じます。アンケートについては、前回の回収率が55%となっていますので、返答がいただきやすいアンケート内容にする必要があるのではと感じました。

部会長：アンケートの回収率というのは、一般的に30%と言われているので低いわけではありませんが、委員の意見を踏まえ、そのあたりも工夫する必要があるのではないかと思います。

委員：市民団体に関わっており、定年が延びてくるということ踏まえ、どの世代の方にボランティアとして関わっていただくのがよいのか判断が難しく感じます。実際に運営する上では、いかに会員の方に意識を高めていただくような工夫ができるかを意識しています。アンケートなどでも、市民の方にボランティアに参加いただけるような意識づけができればよいと感じます。

部会長：難しいかもしれませんが、アンケートが意識づけのきっかけになるようなものができればと感じました。また、無関心層を振り向かせるための工夫も大事かと思っております。

委員：アンケートは絶対ではなく様々なバイアスがあると思います。そもそもアンケートを返さない人はなぜ返さないのか、何を考えているのかといったことも、非常に難しいことでないものねだりかもしれませんが検討できればと思います。また、アンケート回答者の年齢によって傾向が大きく変わるのではないかと感じます。例えば、項目に書かれている環境の変化に関する認識でいえば、ご高齢の方は公害がひどかった時代を知っておられるので環境がよくなったという回答をされ、若年層は最近話題になっているマイクロプラスチックなどの情報をメディアから受け取り、環境が悪くなったという回答になる可能性もあります。同様に、別のアンケート項目で将来のことを聞く予定にしていますが、これが一番アンケート回答者にとっては難しく、こちらもご高齢の方と若年層で意見が変わる可能性があります。分析では、年齢によっての傾向を出すのはおもしろいかもかもしれません。

部会長：2030年のあるべき、ありたい姿というものがまず合って、じゃあ何をするのかといったことが落とし込めればよりよい計画になるのではないかと思います。

委員：アンケートの分析まで考えると、属性をどこまで丁寧にみるかといったことや2030年より先を見据えたフューチャーデザインを意識する必要があるかと思っております。例えば、環境保全に関する取り組みが必要かという質問をすると、おそらく全ての方が必要という回答をすると思います。その中で、この先の枚方市の環境を考えて、何を優先するのかということが計画を作るうえで大切になるのではないかと思います。アンケートを実施しただけということにならないよう、アンケートを設計の段階からしっかり組み立てる必要があります。このアンケートを通じて関心層を増やすという効果があるのであれば、よりよいアンケート結果になるのではないかと思います。どのようなアンケート手法を取

るのかわかりませんが、モニターアンケートやウェブアンケートを組み合わせすぎると、継続的なアンケート結果をどのように評価すべきかといったことが難しくなるので、注意が必要です。事業者アンケートについても、事業規模や業種などによって答えられない項目などもあるかと思しますので、アンケート結果が事業者の皆様にとっても有意義になるよう設計していく必要があるかと思えます。ワークショップについては、前回どのようにされたのかわかりませんが、やり方や内容、抽出、代表性を考えるとアンケート以上に危ういものになりますので、しっかり設計していただきたいと思えます。

部会長：貴重なご意見ありがとうございます。

委員：アンケートの結果も大事だと思いますが、政策を担っている方がどのようなまちにしたいかということも大事だと思います。市民や事業者に対しアンケートを実施する際に、10年後には実現が難しいようなことをイメージして考えていただくことも大事だと思います。そういう意味では、今後、長く生きていく若年層に考えてもらえるような工夫があればと思います。また、事業者の環境に関する取り組みというのは、昔と比べてかなり努力されているということも評価する必要があると思えます。産業構造を考えると、枚方では事業者が井戸を掘削することを禁止されて、井戸を使う業者は市外に転出していったかもしれません。まちとして発展していくことを考えると、住宅だけでなく産業も重要であり、共存していくことが大切であると思えます。自然環境も大切ですが、生活環境を守る上では予算も必要です。アンケートで市民や事業者の意見を聞くことも大事ですが、政策を担っている方の意見も大事であるということも意識していただきたいと思えます。

部会長：いただいたご意見については、先ほどの審議会の際に私が上位計画について伺わせていただいたことと関係していると思えます。政策を進める上で予算は非常に重要で、他の政策との優先順位などの情報をいただきながら検討すれば、実効性のある計画になると思えます。また、本日皆様からアンケートやワークショップについて、貴重なご意見をたくさんいただくことができました。ご意見を踏まえて、アンケートやワークショップが実施しただけというものでなく、意味のあるものになればと思いますのでどうぞよろしくをお願いします。

案件3 今後のスケジュールについて

部会長：案件3「今後のスケジュール」について、説明をお願いします。

【事務局説明】

部会長：ただいま事務局から案件3の内容について説明をいただきました。早速質問ですが、8月に審議会全体会で中間報告と部会の開催が予定されていますが、開催のタイミングや関係性はどのようになっているのでしょうか。

事務局：事務局としては、委員の皆様のご負担を減らしたいと考えており、中間報告と記載しておりますが、実際には進捗状況の報告と考えています。開催のタイミングについては、今回と同様に審議会開催後、部会というイメージを持っております。

部会長：部会と全体会が逆ならまだわかるのですが、どうでしょうか。

事務局：お示したスケジュールは事務局案でございますので、また部会長ともご相談させていただいて、随時検討してまいりたいと思えます。

委員：市民ワークショップの手法については、今後部会で検討はしないのでしょうか。

事務局：ワークショップについても随時ご報告させていただきます。

委員：ワークショップについては、これからの時代を担っていく若い方に来ていただければよいと思いますが、既存の方々に来ていただいて開催するのはあまり意味がないと思いますので検討いただければと思います。

事務局：検討させていただきます。

3 開 会

部会長：最後に事務局から何か連絡事項はありますか。

事務局：スケジュールにもありましたとおり、4 月中にアンケートのたたきなどを送付させていただきます、ご確認させていただきたいと思います。また、6 月の部会の開催に向けて、後日、日程調整をさせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

部会長：それでは、本日の部会を閉会します。ありがとうございました。

以上